

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名	作成年月日	直近の更新年月日
鳥取市	青谷地域（桑原）	令和4年3月31日	年 月 日

### 1 対象地区の現状

① 地区内の耕地面積	19.8 ha
② アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	11.8 ha
③ 地区内における43才以上の農業者の耕作面積の合計	11.8 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.3 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
④ 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.9 ha
(備考)	

### 2 対象地区の課題

<ul style="list-style-type: none"><li>・集落の60歳以上の農業者の割合が8割以上と高く、今後高齢化が進むにつれて離農農家の増加に伴う遊休農地、耕作放棄地の増加が懸念される。</li><li>・集落内の水田は、区画の面積が小さく、生産効率、作業効率が悪い。</li><li>・山間部のため、畦畔法面が広く草刈り等に多くの時間を要する。また、水路も長いため維持管理に労力がかかる。</li><li>・農作物の販売価格と生産コストが見合っていないため、農業所得が上がらない。</li><li>・ワイヤーメッシュや電気柵を設置しているが、イノシシ、鹿の被害が多い。</li></ul>
---

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>集落の農地利用は、中心経営体が担うほか、中小規模や家族経営の農業者が支えていくことで対応していく。農地所有者からの貸付けの意向が生じたときには、集落での話し合いにより、若い農業者を中心に柔軟に対応していく。</p>
--

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針（任意記載事項）

##### ●農地の貸付等の意向

貸付け等の意向が確認された農地は、4筆、20aとなっている。

##### ●農地中間管理機構の活用方針

農地の貸借は、農地中間管理機構を活用する。

##### ●後継者育成への取組方針

集落内で新規就農者や後継者等が出た場合には、集落ぐるみで技術などの支援をしていく。また、集落で一丸となって農地を集落内の農家で守っていける仕組みを検討していく。

##### ●鳥獣被害防止対策の取組方針

ワイヤーメッシュを農地の9割に設置し、電気柵も設置しているが、老朽化しているものが多いため、計画的に更新を行う。また、既設のワイヤーメッシュは強度が低いため、2重設置等の検討を行い強度を高める。

##### ●災害対策への取組方針

既存の多面的機能支払交付金等の活用を継続することにより、農道、用排水路の維持管理と草刈りなどの作業を行い、耕作放棄地の発生の防止を図る。また、水害対策のため、用排水路の点検・掃除を定期的実施するなど防災意識の徹底を図る。